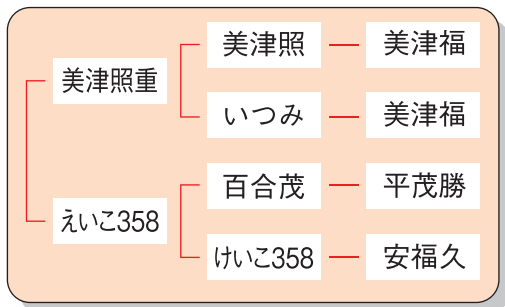


地域の系統再構築
「まさかえ」の流れを
汲む但馬系の実力派

ただたか

忠敬
35の8

●血統



検定成績(去勢)

BMS.No. 9.0

枝肉重量 512.6kg

上物率 100%

●生年月日 平成27年1月15日



黒原 6057
(83.9)



長崎県肉用牛改良センター

〒859-4824 長崎県平戸市田平町小手田免19

TEL(0950)57-1684 FAX(0950)57-1685

<https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/usi/index.html>



プロフィール

「忠敬35の8」は産肉能力に優れた但馬系種雄牛「美津照重」と、高い脂肪交雑育種価を持ち、高等登録牛でもある「えいこ358」の組み合わせで、肉質の更なる向上を目的に造成された但馬系種雄牛です。

現場後代検定では、平均枝肉重量512.6kg、平均BMS.No.9.0と質量兼備の成績を収めました。

母の「えいこ358」は、北松地区の系統雌牛「まさかえ」の流れを汲んでいることから、地域の特色ある系統の再構築に向けて、中心的な役割を担う種雄牛としても期待されています。

現場後代検定成績

	頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪の厚さ (cm)	推定歩留	脂肪交雑 BMS. No.	4・5等級率 (%)
去勢	12	28.9	512.6	65.7	8.5	2.3	75.2	9.0	100.0
雌	6	28.3	446.9	61.3	7.9	2.4	75.0	7.5	83.3
全体	18	28.7	490.7	64.2	8.3	2.3	75.1	8.5	94.4
県平均	去勢	29.1	506.7	63.1	8.3	2.6	74.5	7.5	86.2
	雌	29.1	445.9	59.7	7.9	3.1	74.1	6.5	74.6

県平均:平成31年次長崎県産子の肥育成績平均値



母の父/平茂晴 BMS. No. 11
母の祖父/平茂勝 ロース芯 64cm²



母の父/百合茂 BMS. No. 10
母の祖父/平茂勝 ロース芯 73cm²

交配方法

本牛は但馬系の血量が濃い種雄牛ですので、発育と肉質を兼備した素牛を生産するためには、次のような母牛への交配が考えられます。

1. 糸桜系の母牛 (例 平茂晴、花勝国等)
2. 気高系の母牛 (例 金太郎3、勝乃幸、百合幸等)

遺伝病:すべて正常 (B3, F13, CL16, CHS, MCSU, MSHR, MOD, IARS, FMA, BAS1)

TADATAKA 35 - 8